



**Gluegent Flow マニュアル  
プレースホルダー  
(管理者向け)**



# 目次

1. はじめに.....	2
2. プレースホルダーの概要 .....	2
2.1. プレースホルダーとは.....	2
3. プレースホルダーの説明 .....	3
3.1. プレースホルダー一覧.....	3
4. プレースホルダーの説明(英語).....	8
4.1. 英語でプレースホルダーを使うために.....	8
4.2. プレースホルダー一覧.....	8

# 1. はじめに

本書は Gluegent Flow の概要および管理者向け操作手順を説明しており、G Suite や Office 365 の操作手順および Gluegent Flow の一般利用者向け操作手順の説明は含んでおりません。

本書は 2018 年 4 月 3 日時点の情報を元に作成しているため、実際の画面や仕様と異なる場合があります。

# 2. プレースホルダーの概要

## 2.1. プレースホルダーとは

Gluegent Flow では、自動処理や画面テンプレートの指定した場所に入力フォーム値で置換するための表記方法を用意しています。この表記のことをプレースホルダーと呼びます。記法は、“ $\{$ プレースホルダー名 $\}$ ”です。

Gluegent Flow では以下の例の通り、レイアウト編集および自動処理においてプレースホルダーを利用できます。

### レイアウト編集

- メール送信テンプレート
- 入力フォームレイアウト
- 印刷レイアウト

### 自動処理

- メール送信自動処理
- ドキュメント作成自動処理(G Suite のみ)
- 添付ファイルアップロード自動処理(G Suite のみ)
- ドライブアクセスコントロール自動処理(G Suite のみ)
- スプレッドシート行追加自動処理(G Suite のみ)
- スプレッドシートバッチ追加自動処理(G Suite のみ)
- ドライブファイルのコピー自動処理(G Suite のみ)
- サイトのページ追加自動処理(G Suite のみ)
- お知らせページへの投稿処理(G Suite のみ)
- 参照許可設定の追加自動処理
- 参照許可設定の取り消し自動処理
- タイトルのアップデート自動処理
- 次を飛ばす自動処理
- 入力フォームアップデート自動処理
- 外部システム実行自動処理

## 3. プレースホルダーの説明

### 3.1. プレースホルダー一覧

Gluegent Flow で利用できるプレースホルダーは以下の通りです。

プレースホルダー	内容	出力例
\${作成者}、\${申請者}	作成者のメールアドレス	kamiyacho@songofcloud.net
\${作成者名}、\${申請者名}	作成者の名前	神谷町太郎
\${作成年月日}、\${申請年月日}	作成日(yyyy/mm/dd)	2012/09/13
\${作成年月}、\${申請年月}	作成日(yyyymm)	201209
\${作成年}、\${申請年}	作成日(yyyy)	2012
\${作成月}、\${申請月}	作成日(mm)	09
\${作成日}、\${申請日}	作成日(dd)	13
\${作成日時}、\${申請日時}	作成日(yyyy/mm/dd hh:mm)	2012/09/13 10:05
\${申請所属グループ}	作成時に選択した所属グループのメールアドレス	sales@songofcloud.net
\${申請所属グループ名}	作成時に選択した所属グループ名	営業グループ
\${処理年月日}	処理を実行した日(yyyy/mm/dd)	2012/09/13
※1 \${処理年月}	処理を実行した日(yyyymm)	201209
※1 \${処理年}	処理を実行した日(yyyy)	2012
※1 \${処理月}	処理を実行した日(mm)	09
※1 \${処理日}	処理を実行した日(dd)	13
※1 \${処理日時}	処理を実行した日(yyyy/mm/dd hh:mm)	2012/09/13 10:05
※1 \${処理者}	処理実行者のメールアドレス	kamiyacho@songofcloud.net
※1 \${直前処理者}	前の経路の処理実行者のメールアドレス	本文で Google Docs/HTML レイアウトエディターを選択した処理依頼メールで前の経路の担当者を表現する時に使用します。
※1 \${処理者名}	処理実行者の名前	神谷町太郎
※1 \${直前処理者名}	前の経路の処理実行者の名前	本文で Google Docs/HTML レイアウトエディターを選択した処理依頼メールで前の経路の担当者を表現する時に使用します。

プレースホルダー	内容	出力例
\${(経路名).担当者} ※2、※3	(経路名)で指定した経路に割り当てたユーザーまたはグループのメールアドレス 例:承認待ち.担当者	kamiyacho@songofcloud.net
\${(経路名).担当者名}	(経路名)で指定した経路に割り当てたユーザーまたはグループの名前 例:承認待ち.担当者名	神谷町太郎
\${(経路名).処理年月日}	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyy/mm/dd) 例:承認待ち.処理年月日	2012/09/15
\${(経路名).処理年月}	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyymm) 例:承認待ち.処理年月	201209
\${(経路名).処理年}	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyy) 例:承認待ち.処理年	2012
\${(経路名).処理月}	(経路名)で指定した経路の処理日(mm) 例:承認待ち.処理月	09
\${(経路名).処理日}	(経路名)で指定した経路の処理日(dd) 例:承認待ち.処理日	15
\${(経路名).処理日時}	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyy/mm/dd hh:mm) 例:承認待ち.処理日時	2012/09/15 13:30
\${(経路名).処理者}	(経路名)で指定した経路で処理を実行したユーザーのメールアドレス 例:承認待ち.処理者	kamiyacho@songofcloud.net
\${(経路名).処理者名}	(経路名)で指定した経路で処理を実行したユーザーの名前 例:承認待ち.処理者名	神谷町太郎
\${(経路名).スキップ}	(経路名)で指定した経路でスキップの有無を true / false を返します 例:承認待ち.スキップ	true false
\${(経路名).(処理名).処理年月日}	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyy/mm/dd) 例:承認待ち.承認.処理年月日	2012/09/15
\${(経路名).(処理名).処理年月}	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyymm) 例:承認待ち.承認.処理年月	201209
\${(経路名).(処理名).処理年}	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyy) 例:承認待ち.承認.処理年	2012
\${(経路名).(処理名).処理月}	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(mm) 例:承認待ち.承認.処理月	09
\${(経路名).(処理名).処理日}	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(dd) 例:承認待ち.承認.処理日	15

プレースホルダー	内容	出力例
\$(経路名).(処理名).処理日時	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日 (yyyy/mm/dd hh:mm) 例:承認待ち.承認.処理日時	2012/09/15 13:30
\$(処理名)	実行した処理の名前	承認
\$(経路名)	実行した経路の名前	承認待ち
\$(経路説明)	実行した経路の説明	申請内容に問題ないか確認して、 処理を行ってください。
\$(終了年月日) ※4	タスクの終了日(yyyy/mm/dd)	2012/09/15
\$(終了年月) ※4	タスクの終了日(yyyymm)	201209
\$(終了年) ※4	タスクの終了日(yyyy)	2012
\$(終了月) ※4	タスクの終了日(mm)	09
\$(終了日) ※4	タスクの終了日(dd)	15
\$(終了日時) ※4	タスクの終了日(yyyy/mm/dd hh:mm)	2012/09/15 13:30
\$(件名)	タスクの件名	経費精算申請
\$(モデル名)、\$(申請モデル名)	モデルの名前	経費精算申請
\$(カテゴリ) ※2	モデルのカテゴリ	各種申請
\$(システムコメント) ※1	コメント	承認します
\$(直前システムコメント)	前の経路のコメント	Google Docs で作成したテンプレートで処理依頼メールを作成する時に使用します
\$(処理履歴)	処理履歴	---[申請] 神谷町 太郎 申請 (2012/09/13)
\$(タスクへのリンク)	タスクの URL	https://~
\$(タスクへのアンカー)	タスクの URL (ハイパーリンク)	申請[2012/09/13-00001] ※リンク表示
\$(タスク番号)	タスク番号	2012/09/13-00001
\$(項目名)	入力フォームの値 例: \$[項目 A]	123

プレースホルダー	内容	出力例
\${(項目名).(階層)}	親子リストの各階層の値。ドットの後ろに階層に対する数字を入れると、その数字の階層目の値が出力される。 例:顧客情報のリストが以下の項目だった場合 名前,部署,社員番号 (1), (2), (3) 「\${顧客情報.2}」: →親子リスト「顧客情報」の2階層目の値が出力 →部署	開発部 ※左記例の場合
\${(項目名).name} ※5	タイプが「ドライブ」の入力フォームで指定されたファイル名 例: 帳票.name	経費精算書
\${(項目名).link} ※5	タイプが「ドライブ」の入力フォームで指定されたファイルの URL リンク 例: 帳票.link	<a href="https://docs.google.com/a/~">https://docs.google.com/a/~</a>
\${(項目名).name}	タイプが「メンバー/グループ」の入力フォームで指定されたユーザー・グループの氏名、名前 例: 指導者.name	神谷町太郎
\${(項目名).mail} ※3	タイプが「メンバー/グループ」の入力フォームで指定されたユーザー・グループのメールアドレス (例: 指導者.mail)	kamiyacho@songofcloud.net
\${フォロワー(すべて)} ※3	フォロワー「すべて」で指定されたメンバー・グループのメールアドレス	kamiyacho@songofcloud.net, ebisu@songofcloud.net
\${フォロワー(完了時のみ)} ※3	フォロワー「ワークフロー完了時のみ」で指定されたメンバー・グループのメールアドレス	hiroo@songofcloud.net
\${フォロワー} ※3	フォロワー「すべて」および「ワークフロー完了時のみ」で指定されたメールアドレス	kamiyacho@songofcloud.net, ebisu@songofcloud.net, hiroo@songofcloud.net

※1: 後続処理者宛へ送信する処理依頼通知メール用テンプレートに利用しても出力できない制限があります。

※2: デフォルトではカンマ区切りで複数表示します。

※3: このプレースホルダーは複数ユーザーやグループを指定できるため、以下の自動処理の設定項目で使用了場合、自動処理が失敗する場合があります。

自動処理名	設定項目名
ドキュメント作成	オーナー(email)
添付ファイルアップロード	オーナー(email)
ドライブアクセスコントロール	オーナー
サイトのページ追加	オーナー
お知らせページへの投稿	投稿者

※4: 確認経路が設定されていた場合は確認経路に到達した日時を表示します。

※5: Gluegent Flow for SB Edition ではご利用いただけません。



プレースホルダーとモデルの入力フォームの名前が重複した場合は入力フォームの値が優先されます。例えば「作成者」という入力フォームがあった場合、 $\{作成者\}$ の値は入力フォームに入力された値となります。



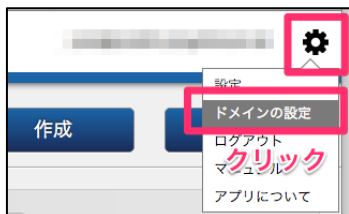
## 4. プレースホルダーの説明(英語)

### 4.1. 英語でプレースホルダーを使うために

英語でプレースホルダーを使用する場合は予めロケールを「英語」にしておく必要があります。ロケールを「英語」にすると英語のプレースホルダーが使用できますが、日本語のプレースホルダーは使用できなくなります。

手順は以下の通りです。

Gluegent Flow の画面右上のギアアイコンをクリックし、「ドメインの設定」をクリックします。



ロケールにて「英語」を選択します。



「設定を保存する」をクリックします。



### 4.2. プレースホルダー一覧

Gluegent Flow で利用できるプレースホルダーは以下の通りです。

プレースホルダー(英語)	内容	対応するプレースホルダー(日本語)
\${requester}	作成者のメールアドレス	\${作成者}
\${requesterName}	作成者の名前	\${作成者名}
\${application date}	作成日(yyyy/mm/dd)	\${作成年月日}
\${applicationYearMonth}	作成日(yyyymm)	\${作成年月}
\${applicationYear}	作成日(yyyy)	\${作成年}
\${applicationMonth}	作成日(mm)	\${作成月}
\${applicationDay}	作成日(dd)	\${作成日}
\${applicationDateTime}	作成日(yyyy/mm/dd hh:mm)	\${作成日時}
\${applicationSelectedGroup}	作成時に選択した所属グループのメールアドレス	\${申請所属グループ}
\${applicationSelectedGroupName}	作成時に選択した所属グループ名	\${申請所属グループ名}
\${processing date}	処理を実行した日(yyyy/mm/dd)	\${処理年月日}

プレースホルダー(英語)	内容	対応するプレースホルダー(日本語)
<code>\${processingYearMonth}</code>	処理を実行した日(yyyymm)	<code>}\${処理年月}</code>
<code>\${processingYear}</code>	処理を実行した日(yyyy)	<code>}\${処理年}</code>
<code>\${processingMonth}</code>	処理を実行した日(mm)	<code>}\${処理月}</code>
<code>\${processingDay}</code>	処理を実行した日(dd)	<code>}\${処理日}</code>
<code>\${processingDateTime}</code>	処理を実行した日(yyyy/mm/dd hh:mm)	<code>}\${処理日時}</code>
<code>\${taskingAccount}</code>	処理実行者のメールアドレス	<code>}\${処理者}</code>
<code>\${taskingLastAccount}</code>	前の経路の処理実行者のメールアドレス	<code>}\${直前処理者}</code>
<code>\${taskingAccountName}</code>	処理実行者の名前	<code>}\${処理者名}</code>
<code>\${taskingLastAccountName}</code>	前の経路の処理実行者の名前	<code>}\${直前処理者名}</code>
<code>}\${(経路名).chargedAccounts}</code>	(経路名)で指定した経路に割り当てたユーザーまたはグループのメールアドレス	<code>}\${(経路名).担当者}</code>
<code>}\${(経路名).chargedAccountName}</code>	(経路名)で指定した経路に割り当てたユーザーまたは組織グループの名前	<code>}\${(経路名).担当者名}</code>
<code>}\${(経路名).processing date}</code>	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyy/mm/dd)	<code>}\${(経路名).処理年月日}</code>
<code>}\${(経路名).processingYearMonth}</code>	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyymm)	<code>}\${(経路名).処理年月}</code>
<code>}\${(経路名).processingYear}</code>	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyy)	<code>}\${(経路名).処理年}</code>
<code>}\${(経路名).processingMonth}</code>	(経路名)で指定した経路の処理日(mm)	<code>}\${(経路名).処理月}</code>
<code>}\${(経路名).processingDay}</code>	(経路名)で指定した経路の処理日(dd)	<code>}\${(経路名).処理日}</code>
<code>}\${(経路名).processingDateTime}</code>	(経路名)で指定した経路の処理日(yyyy/mm/dd hh:mm)	<code>}\${(経路名).処理日時}</code>
<code>}\${(経路名).taskingAccount}</code>	(経路名)で指定した経路で処理を実行したユーザーのメールアドレス	<code>}\${(経路名).処理者}</code>
<code>}\${(経路名).taskingAccountName}</code>	(経路名)で指定した経路で処理を実行したユーザーの名前	<code>}\${(経路名).処理者名}</code>
<code>}\${skip}</code>	(経路名)で指定した経路でスキップの有無を true / false を返します	<code>}\${(経路名).スキップ}</code>
<code>}\${(経路名).(処理名).processing date}</code>	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyy/mm/dd)	<code>}\${(経路名).(処理名).処理年月日}</code>
<code>}\${(経路名).(処理名).processingYearMonth}</code>	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyymm)	<code>}\${(経路名).(処理名).処理年月}</code>
<code>}\${(経路名).(処理名).processingYear}</code>	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyy)	<code>}\${(経路名).(処理名).処理年}</code>
<code>}\${(経路名).(処理名).processingMonth}</code>	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(mm)	<code>}\${(経路名).(処理名).処理月}</code>
<code>}\${(経路名).(処理名).processingDay}</code>	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(dd)	<code>}\${(経路名).(処理名).処理日}</code>
<code>}\${(経路名).(処理名).processingDateTime}</code>	(経路名)(処理名)で指定した処理の処理日(yyyy/mm/dd hh:mm)	<code>}\${(経路名).(処理名).処理日時}</code>

プレースホルダー(英語)	内容	対応するプレースホルダー(日本語)
`\${processingAction}`	実行した処理の名前	`\${処理名}`
`\${nodeName}`	実行した経路の名前	`\${経路名}`
`\${nodeDescription}`	実行した経路の説明	`\${経路説明}`
`\${approvedDate}`	タスクの終了日(yyyy/mm/dd)	`\${終了年月日}`
`\${approvedYearMonth}`	タスクの終了日(yyyymm)	`\${終了年月}`
`\${approvedYear}`	タスクの終了日(yyyy)	`\${終了年}`
`\${approvedMonth}`	タスクの終了日(mm)	`\${終了月}`
`\${approvedDay}`	タスクの終了日(dd)	`\${終了日}`
`\${approvedDateTime}`	タスクの終了日(yyyy/mm/dd hh:mm)	`\${終了日時}`
`\${taskName}`	タスクの件名	`\${件名}`
`\${processName}`	モデルの名前	`\${モデル名}`
`\${category}`	モデルのカテゴリ	`\${カテゴリ}`
`\${currentSystemComment}`	コメント	`\${システムコメント}`
`\${lastSystemComment}`	前の経路のコメント	`\${直前システムコメント}`
`\${execHistory}`	処理履歴	`\${処理履歴}`
`\${taskLink}`	タスクの URL	`\${タスクへのリンク}`
`\${taskAnchor}`	タスクの URL(ハイパーリンク)	`\${タスクへのアンカー}`
`\${taskNo}`	タスク番号	`\${タスク番号}`
`\${followers(anytime)}`	フォロワー「すべて」で指定されたメンバー・グループのメールアドレス	`\${フォロワー(すべて)}`
`\${followers(approved)}`	フォロワー「ワークフロー完了時のみ」で指定されたメンバー・グループのメールアドレス	`\${フォロワー(完了時のみ)}`
`\${followers}`	フォロワー「すべて」および「ワークフロー完了時のみ」で指定されたメールアドレス	`\${フォロワー}`



# Gluegent Flow マニュアル

2018年4月3日  
株式会社グルージェント

※本書にて記述した製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。  
※本書の内容の無断転載および改変を禁止します。

---